

プチ講話

「授業づくりチェックシート」と目指す児童の姿について

令和5年4月26日(水)

佐賀市立金立小学校 副島 和久

金立小学校の校内研究が

「研究」のための研究ではなく、

目の前にいる子どもたちに

還元される研究でありたい



1

教師や学校がやるべきことは

① 児童生徒に を明確にする。

めざす児童の姿

② その力が身に付くように「」の
視点から授業改善を図る。

授業づくりチェックシート

③ その力が身に付いたかどうかを し、指導等に生かす。

めざす児童の姿

単元(題材)で身に付ける力を子どもと共有する

2年 音楽 題材名 リズムを重ねて



【めあて】

校長先生が打つリズムや楽譜に書いてあるリズムを
打つことができる(ようになる)

判断の目安 正しく、間違えずに…A 花丸
元気に、いい音で…A 花丸

金立小学校授業づくりチェックシート その1

2

- 本時の目標(めあて)を必ず板書するなどして提示している。
また、その目標(めあて)は児童にとって適切である。
- 本時の目標(めあて)に対する適切なまとめを行っている。
- 取り組む問題や課題は、本時の目標(めあて)とつながっており、児童が取り組みたい(取り組みそうだ、取り組まないといけない)と思えるものになっている。

金立小学校授業づくりチェックシート その2

3

- 本時の目標(めあて)に対する学習展開が適切である。
→教師主導 と 児童主体
→個別・ペア・グループ・全体などの学習形態
→学習のゴール設定
- 児童が思考する活動や児童同士の対話的な活動が適切に
仕組まれている。
【児童が思考する活動や児童同士の対話的な活動の例】
→「ひとりでタイム」
→「ふたりでタイム」
→「グループタイム」
→「みんなでタイム」など

金立小学校授業づくりチェックシート その3

4

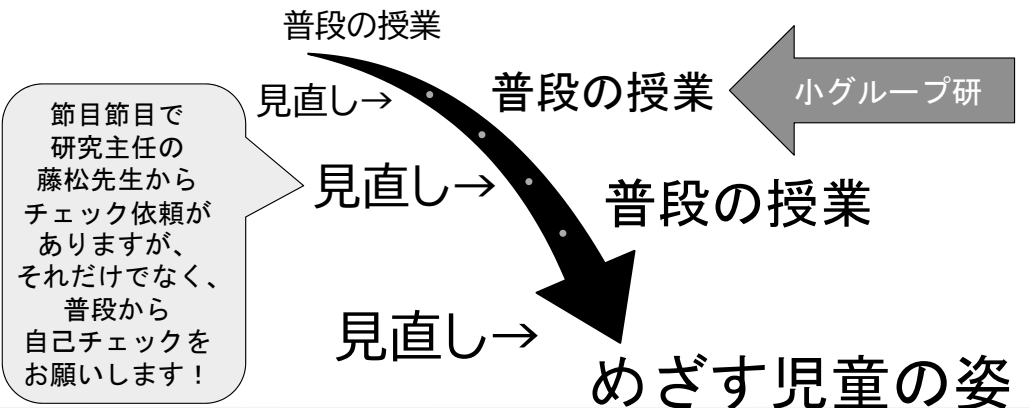
- 授業の終末に、本時の目標(めあて)が達成できたかなどを児童が振り返る時間を設けている。

キーワードは「**適切**」 あなたの判断基準です！
「適切」とは、児童にとって
「わかりやすい」
「やりがいがある」「やりたくなる」
「必然性がある」「やった方がいいと思える」
「無理がない」「難しすぎない」 など



金立小学校 授業づくりチェックシートを用いた 普段の授業の不断の見直し

5



金立小学校 めざす児童の姿 その1

6

3つの姿別 評価(判断)の難易度と評価方法

易	□ 自分の考えを表現する(かく)姿	授業後に評価可能(文字言語) ノートやワークシート
	↓	
	□ 自分の考えを表現する(話す)姿	授業中に評価 (音声言語) LIVE 観察法
	↓	
難	□ 聞く姿	授業中または授業後に評価(内言語) →何らかの方法で ハイブリッド 表出させる 必要あり



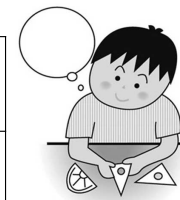
金立小学校 めざす児童の姿 その2

7

評価(判断)基準の明確化①

自分の考えを表現する(かく)姿

3年生	・自分の考えをもち、図、式、言葉などを使って、 分かりやすくかくことができる。
4年生	・自分の考えを持ち、図、式、言葉などを関連させて、 分かりやすくかくことができる。



3年、4年「分かりやすく」の具体をどう捉えるのか？
5年 「関連させて」の具体をどう捉えるのか？

金立小学校 めざす児童の姿 その3

8

評価(判断)基準の明確化②

聞く姿

1年生	・話し手の方を体ごと向き、最後まで聞くことができる。 ・友達の発表に反応しながら聞くことができる。
2年生	・話し手の方を体ごと向き、最後まで聞くことができる。 ・友達の考えを聞き、自分の考えと同じか違うかを考えることができる。



1年「友達の発表に反応しているか」をどのように判断するのか？
2年「自分の考えと同じか違うかを考えることができているか」
をどのように判断するのか？

金立小学校 めざす児童の姿 その4

9

分析の精度と手立ての見直し

自分の考えを表現する(話す)姿

その実態を踏まえたとき、
手立てはこのままで
(本当に)大丈夫か？

	めざす児童のすがた	「めざす児童のすがた」にせまるための手立て	「めざす児童のすがた」の実態 5月
5年生	・自分の考えを図、式、言葉を関連させて、 根拠をもって説明することができる。 ・質問や発問に対して、自分の考えをま とめて説明することができる。	・授業中に一度は必ず挙手することを指導し ている。できるだけ多くの児童に話をさせる ため、友達の続きを説明させるなど、1つの考 えを複数の児童に説明させるようにしている。	・自分の考えを根拠をもって説明できる児童は 全体の5割程度。図や数直線をもとに考えてい る児童は多いが、式と関連付けて説明するこ とができる児童は少ない。 ・授業中に一度以上挙手している児童は6割程 度であるが、学習内容にもよる

「めざす児童のすがた」に対する
現在の実態をどう分析するか？